

<対策のポイント>

モデルほ場の設置を通じ、畑地かんがいにおける多様化かつ高度化した土地及び水利用技術や、作物栽培管理技術の確立とその普及を図ります。

<政策目標>

末端の畑地かんがい施設整備を円滑に推進し、事業効果を早期に発現

<事業の内容>

農産物の需要動向に対応した畑作物生産の合理化を図るため、畑地かんがい技術の確立とその普及を図り、基幹かんがい施設の整備の進捗に合わせた末端施設整備の円滑な推進と事業効果の早期発現を図る。

1. モデルほ場の設置

- 国営かんがい排水事業の受益地内においてモデルほ場を設置するため、農業用排水施設の新設又は、更新、整地工、土層改良、暗渠排水等の整備を実施します。

2. 畑地かんがい技術試験の実施

- 畑地かんがい技術試験として、土壌水分測定や気象観測等の調査測定用器具の設置、調査測定試験を実施します。

【採択要件】国営かんがい排水事業の受益地内の地域であること

<事業の流れ>



1/2等

<事業イメージ>



モデルほ場での土壌水分測定



レインガンによる給水



かん水資材（ハウス用）



左：防霜かんがい区 右：無かんがい区